

重要な時期であった。学校体育では、改訂指導要領の趣旨および教材の取扱いかたに全力を傾けてこれが徹底につとめた。各出張所ごとの伝達講習会、自主的団体による研究会、講習会、研究指定校を中心とした集会等においてこれが解明に当たった。

文部省主催による小学校、中学校の教育課程研究協議会受講の後、県内を教ブロックにして伝達した。主管は学校教育課ではあったが、体育については、現場の声を集約整理し、近く解答を附して発刊することになっている。これによって共通の問題を数多く見ることができた。

J 学校体育実技講習会（文部省実技講習伝達）

文部省では、3ヶ年計画で実技講習会開催を計画し、小学校は秋田で、中学校は仙台で東北、北海道を1ブロックとして行なわれたので、これが伝達講習会を開催した。

- a, 期日 昭和35年 1月 9日・10日
- b, 会場 若松市立若松第二中学校
- c, 種目 徒手体操、器械運動、球技、格技、リズム
- d, 講師 文部省主催の実技講習会受講者の中から委嘱
- e, 参加者 110名

時期が冬季のうえ、第三学期の早々であったが、参加者は極めて熱心に、かつ指導は取扱いの要点を捉えて懇切であった。

K スキー実技講習会

小学校および中学校の学習指導要領の改訂にともない、特にスキーの指導能力を高め、もって教職員の資質の向上をはかることをねらいとして実施した。

- a, 期日 昭年35年 2月 2日・3日・4日
- b, 会場 猪苗代町沼尻スキー場
- c, 内容
 - (1) 学習指導要領のうち、スキーの指導法
 - (2) 冬期体育の計画と運営
 - (3) スキー実技練習
- d, 参加者 学校スキーの指導の立場にある関係教員 70名
- e, 講師 保健体育課指導主事 鈴木善兵衛氏
福島大学学芸学部教授 菊池 哲男氏
同上 助教授 鈴木 勝衛氏

本県は積雪地帯が多く、冬期の体育指導は重要な問題である。とかくすると、施設・設備（特に体育館）の不じゅうぶんを理由に、適当になりがちである。この観点より冬期の指導計画を検討し、研究して効果的な方法を考えて実施しなければならない。この意味において、本講習会は有効なものであった。積雪地方における雪の利用、雪面の活用、遊びの指導からスキーの実技練習により冬期学校体育を進めていくことは極めて重要なことで、今後も毎年継続して行いたい。

5 学校給食

本県の学校給食はここ、2、3年の間に逐次普及面に、また実施面において充実されてきた。特に最近では農村普及事業の実施により、農村部における完全給食開設の熱が高まりつつあることは、まことに喜ばしい現象である。

ここに昭和35年度における学校給食関係の事業内容の概要をふりかえり、今後の本県の学校給食の推進の参考に資したい。

A 第三回県学校給食振興大会の開催

本年度第三回の標記大会は郡山市地区関係の多大な協力により、例年にならぬ約 500名の多くの参加者をえて開催された。その概要は次のとおりである。

- a, 主催 福島県教育委員会事務局
財団法人福島県学校給食会
郡山市教育委員会
- b, 協賛 福島県食生活改善連絡協議会
福島県パン協同組合
- c, 期日 昭和34年10月18日（日）
- d, 会場 郡山市立金透小学校
- e, 特別講演

演題「学校給食の諸問題について」

講師 文部省体育局学校給食課長 平岡修先生

- f, 分科会
 - (1) 第一分科会「学校給食の普及啓蒙はいかにしたらよいか」

- 助言者 勿来市立川部中学校長 門馬政雄
- 司会者 安積郡安積町立安積中学校長 渡辺朋孝
- 研究発表者

「わが校でとった完全給食への啓蒙方法について」
白河市立五箇小学校教諭 鈴木喜太郎

- (2) 第二分科会「学校給食施設・設備の整備充実はいかにしたらよいか」

- 助言者 須賀川市立須賀川第二小学校長 塚原 央
- 司会者 安積郡熱海小学校長 箭内政利
- 研究発表者

「本校における施設・設備の実際と今後の計画について」
須賀川市立須賀川第二小学校教諭 柳沼 正

- (3) 第三分科会「今後の学校給食の指導はどのような点に留意したらよいか」

- 助言者 平市立平第二小学校長 湯山 啓二
- 司会者 郡山市立薫小学校長 平栗十三二
- 研究発表者「学校給食指導上の留意点について」
福島市立福島第二小学校教諭 菅野武彦

- g, 全体協議
 - (1) 議長 郡山市立小原田小学校長 添田政衛
 - (2) 提出議題
 - 学校給食実施校に義務教育国庫負担法に基く栄養管理職員を設置するようその筋に要望するの件